



地域おこし協力隊通信

vol.49



寒さに慣れてきたと思ったら、雪が降る中である畑仕事で手足がかじかんでしまい、休みながら作業をしないと体がもたないと感じる今日この頃です。「かじかむ」という言葉が北海道の方言ということを知りながら、協力隊の大川です。

幌延に住み始めて2か月が経ちましたが、都会で必要のなかったストーブや石油缶など、環境が変われば必要なものがかわってくると身に染みて感じています。さて、今回は特産品についてお話ししましたがご意見はいかがでしょうか。アイデアはいつでもお受けいたしますのでご連絡ください。

今月の話は「人を呼び込める施設」についてです。協力隊の役割の一つとして観光客や移住者を呼び込むことが挙げられます。そこで皆さんの考える人を呼び込める施設はどんな場所でしょうか。ショッピングモール、プ

ラネタリウムなどでしょうか。

私の前職が車関係の仕事だったこともあり、冬の厳しい環境と夏の過ごしやすさを活かした車関連の施設があったらどうだろうと考えています。皆さんのアイデアをお待ちしております!!

お問い合わせ先：企画政策課 企画政策グループ
電話 5-1114 告知端末 5-8814

新規職員紹介

川田 美奈
(12月1日付)

【所属】
国保診療所 看護師



はじめまして、国保診療所看護師の川田美奈です。配属先は診療所の病棟で、皆様と色々なお会いする機会が少ないですが、よろしくお願いいたします。

ほろのべの裏窓

好きな四字熟語に「温故知新(おんこちしん)」という言葉があります。広辞苑には「昔の物事を究めて新しい知識や見解を得ること」とあり、先人から学ぶ大切さを説いています。新年号にふさわしい特集を組もうと過去の広報誌を改めて見ると、昭和60年前後に取り上げられていた「年男・年女のインタビュー」に興味をわき、5ページに掲載しました。いかがだったでしょうか。取材に協力してくれたなみ生年生まれの8人は、進学、就職、出産、還暦などまさに人生の節目を迎えており、それぞれが思い思いに新年の抱負を語ってくれました。写真撮影にも快く応じていただき、感謝しています。

●広報へのご意見、ご要望をお寄せください●
住民生活課生活グループ 電話：5-1112 告知端末機：5-8812
E-mail:seikatsu@town.horonobe.lg.jp

1月10日は「110番の日」 正しい通報利用にご協力を!

1月10日は110番の日です。重大な事件、事故が起きた時、警察官がいち早く現場にたどり着けるよう、以下の3点のご協力をお願いします。

- ①まず「慌てず」「落ち着いて」話すこと
- ②「事件か事故か」「けが人がいるか」を最初に伝えること
- ③現場に向かいやすいよう、住所や目標物を伝えること

★緊急を要さない相談ごとなどは
警察相談ダイヤル：#9110 までご連絡ください。



わが家のエンジェル



藤門 透生(とくし)くん
(平成31年4月23日生・幌延)
お父さん 雄哉(とく)さん
お母さん 亜美(あみ)さん
よく飲んで、よく動きよく寝てくれるとっても良い子です。「おいで〜」と呼ぶと笑顔で来るよ。うになり、「抱っこは?」と聞くと両手を広げて喜びます。これからもたくさんの人に愛されて育ってね!

男	1,184 (-2)
女	1,117 (-4)
計	2,301 (-6)
世帯数	1,245 (-5)

(令和元年11月末日現在)
※()内は前月比

令和2年1月 発行/天塩郡幌延町
企画・編集/住民生活課生活グループ
幌延町ホームページアドレス/ http://www.town.horonobe.hokkaido.jp
印刷/株式会社須田製版